

学習活動

「空き缶つぶしをしよう！」

空き缶を回収し、空き缶洗い、プルタブ・シールとり、空き缶つぶし、リサイクル業者に売りに行く作業学習

活用の目的

○作業の残り時間を可視化することで、見通しをもって取り組むことのできる状況を作る。

活用の実際と工夫

○iPad のアプリケーション「Uz」を使用し、作業の残り時間を可視化する。

○音量を大きめに設定しておき、アラーム音で作業の終わりを伝える。



「Uz」は一度時間を設定すると「トントントント」と画面を叩かないと変更できないため、生徒には残り時間を変えられない、という点もポイント。



「Uz」は可視化タイマーで、一周で60分を示す。作業のような長時間の授業で活躍する。ある生徒は残りの個数と時間を見比べて、見通しをもって取り組んでいる。時間の概念の獲得が難しい自閉症スペクトラム圏にいる生徒には、時間の可視化は見通しをもつための有効な手立てになる。そして見通しがそのまま学習意欲につながっていく。

活用の効果 ○効果 ●課題

○3名中、2名の生徒については残り時間を意識しながら作業していた。時々画面を見ながら、「あと〇分ですね。終わりそうです。」と教師に伝えたり、「あと〇ケースだよ。がんばれ！」と自分に言い聞かせたりする様子が見られた。

○残りのケース(残りの作業)とタイマーを見比べて、「このままだと終わらない」と思った生徒が、ペースを上げる様子が見られた。

●水道で缶を洗う生徒のために、水道付近への設置を検討したが、防水の面で断念した。